

隣接小学校において、互いの学力向上特配（A教諭、B教諭）を活用している例（一部教科担任制）

校名	桐生市立北小学校									桐生市立菱小学校								
学級数	学年	1	2	3	4	5	6	特支	計	学年	1	2	3	4	5	6	特支	計
	学級数	1	2	1	1	1	1	1	8	学級数	1	2	1	1	1	1	1	8
特配教員等活用状況	A教諭（北小置籍 週19時間）																	
	○毎週月・水曜日は北小学校で一日勤務 ○火・木・金は北小と菱小で勤務 ○北小の4～6年の理科（3時間×3）を担当									○毎週火・木・金曜日に菱小でも勤務 ○菱小の4～6年の理科（3時間×3）を担当								
	○理科専科																	
	B教諭（菱小置籍 週20時間）																	
	○北小の5，6年の算数（5時間×2）を担当 ○毎日北小でも勤務									○菱小の5，6年の算数（5時間×2）を担当 ○毎日菱小でも勤務								
	音楽等専科 ○3，4年の社会（2時間×2）、全学年の音楽（12時間）、5，6年の家庭科（2時間×2）を担当 → 5，6年の担任が3，4年の体育のT2を担当									音楽等専科 ○全学年の音楽（12時間）、3，年の図工（2時間×2）、5・6年の家庭科（2時間×2）を担当。								
成果	<p>○小小連携によって、理科免許所有者が両校の理科専科、算数免許所有者が両校の算数専科になっているため、その教科に特化した教材研究に専念することができ、理科指導及び算数指導の充実が図られている。</p> <p>○学力向上特配が配置されたことで、一部教科担当制の導入が可能になり、専門性を生かし、基礎基本の確実な定着と発展的な学習の充実が図られている。</p> <p>○一部教科担当制の導入によって、北小では授業時間にゆとりが生じた5，6年担任を、3，4年の体育のT2として活用することが可能になり、個に応じたきめ細かな指導の充実が図られている。菱小では、5，6年の算数で、担任とのTTや少人数指導を行い、個々の実態に応じたきめ細やかな指導の充実を図っている。</p>																	
課題	<p>○北小の理科専科は週2日（月・水曜日）は北小のみで勤務できるが週3日は北小と菱小で勤務している。また、菱小の算数専科は毎日菱小と北小で勤務している。移動に時間がかかり、置籍校を離れる時間が多い点が最大の課題である。</p> <p>○時間割表の作成という点からは、理科専科と算数専科の時間割を最優先に、次に音楽等専科の時間割りを優先し体育や特別支援学級の関係も考慮に入れて時間割を組むため、その作成に多くの時間を割かねばならなくなっている。特に、学校行事が予定されている日の授業や運動会前の特別校時期間や出張が入っている場合の授業変更など大いに神経を使う場面が頻繁にある。</p> <p>○理科においては、予備実験等大がかりな準備（例：流水の働き）をする時間がなかなかとれず、授業以外の時間に観察を設定して継続的な指導が難しい単元（例：植物の発芽や成長、太陽や月の動き、川の観察）もある。</p> <p>○算数においては、習熟の時間の確保や、理解に時間がかかる児童への補習指導などにおいて、担任との共通理解が必要であるが、時間と場の設定が難しい。</p>																	